



本日のプログラム

- ◆国歌斉唱『君が代』
- ◆ロータリーソング『我等の生業』
- ◆卓話の時間  
輪島市健康推進課生活支援係長 梶田明美 氏  
『高齢者福祉サービスについて』

第2602回例会（2月28日）報告

司会 金川智久 SAA委員

- ◆開会点鐘 保下信一会長
- ◆ロータリーソング『四つのテスト』
- ◆会長の時間 保下信一会長

皆さん今日は。本日は私の懐かしい小学生時代の生活の思い出を話します。

一つ目は、生活するための水です。田舎の人は自分の家近くに山よりの水または湧き水があり、今と違い風呂なども少なく当時は不便さを感じなかったのではと思います。しかし町中に生活している人達は水に大変に苦労した様に思います。その時代各家々には井戸がありましたが、水量が少なくまた水質も良くないという事で近くの小加勢の井戸へよく水くみに行きました。小加勢の水は皆さんの大切な生活飲料水であり、近くを通る人達の大切な飲み水でした。親達は水くみをはぶくために塗の桶で井戸水をろ過するものを作っていた記憶があります。その後、各家に水道が入って来ました。当時の水道管布設工事は現代みたいな機械力もなく、全て人力とつるはし、スコップでの工事だったので子供ながらに記憶にあります。

二つ目は、日常使う火について、当時湯を沸かす、魚を焼くは殆ど七輪に木炭、玄関先でよくイワシを焼いていたのを覚えています。コタツは灰火で暖を取る。またコタツの中にめしびつをフトンでつつみ入れていた覚えもあります。また、ごはんを炊く時はタイル貼りのイソライトかまどという記憶があり、かまどの残り火は消しつぽに入れていました。消しつぽも今では珍しい昔の生活用品です。

三つ目は、冷蔵庫について。当時、電気冷蔵庫はなく水で冷やす冷蔵庫を覚えています。当時、母親が飲み屋をしており、氷冷蔵庫を使用していました。当時は店で使用する氷を毎日訪問して氷を置いていく商売も大繁盛していた記憶があります。



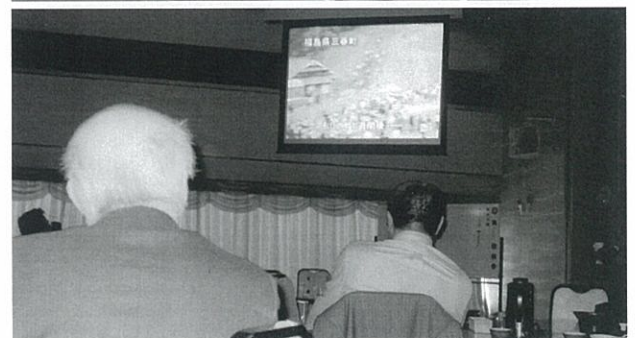
◆出席報告 八井貴啓出席・ニコニコBOX委員

2月28日の暫定出席率：73.33%  
(出席22名、欠席8名)  
2月14日の確定出席率：76.67%  
(出席23名、欠席7名、マーク加算0名)

◆ニコニコBOX報告 八井貴啓委員  
・孫娘も小学校6年、もうすぐ卒業です。26日6年生を送る会見て来ました。 保下信一会長



◆卓話の時間 米山記念奨学会のビデオ鑑賞



日本で最初に創設された東京ロータリークラブの米山梅吉会員が提唱した基金で、中国、韓国、台湾、ベトナム等、主に東南アジア各国からの優秀な留学生に対し、安心して勉学・研究に専念出来るように経済的な支援をしようという目的で米山奨学金が設立された。

後に米山記念奨学生さんの悩みや不安など、精神面でのサポートが必要としてロータリークラブ会員によるカウンセラー制度が設けられ、多くの留学生を家族同様に支援してきた。カウンセラーとの交流の様子をビデオ映像を通して紹介し、米山記念奨学会特別寄付への継続的な貢献を要請した。

◆閉会点鐘 保下信一会長  
〔編集：大向洋紀会員〕